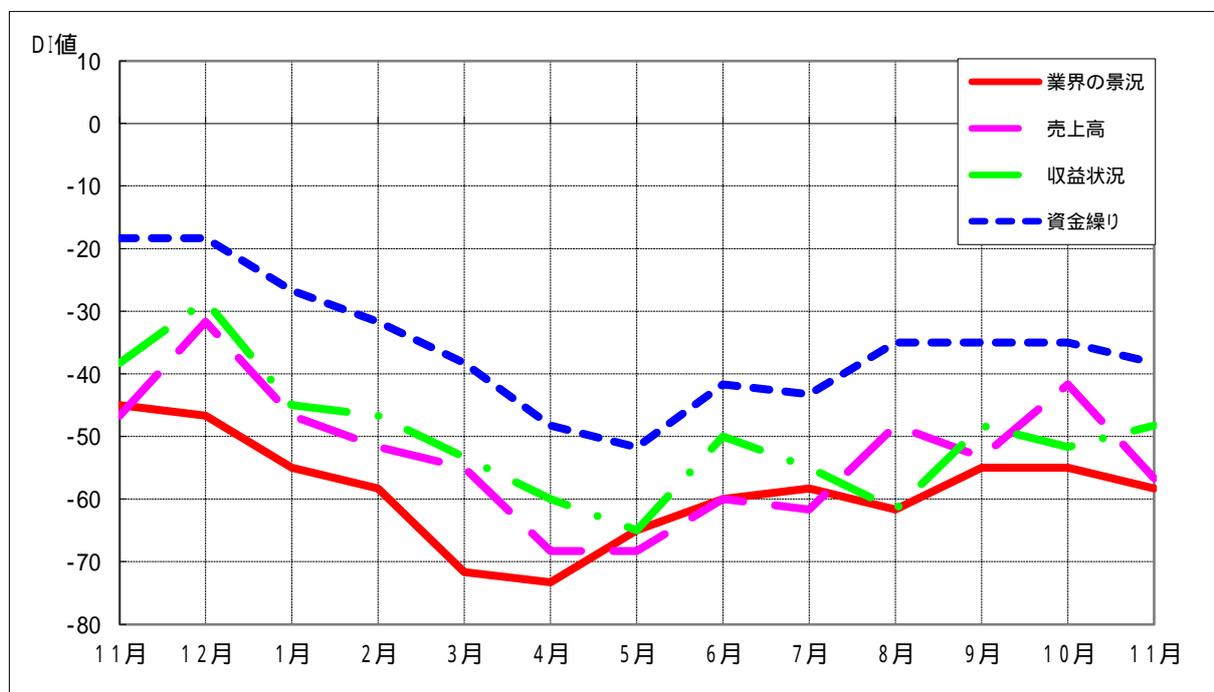


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年11月～令和2年11月

単位:ポイント



	R1		R2										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-45.0	-46.7	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3
売上高	-46.7	-31.7	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7
収益状況	-38.3	-28.3	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3
資金繰り	-18.3	-18.3	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3

11月のDI値は前月と比べ、1項目改善、3項目悪化となった。「収益状況」DI値は3.4ポイント改善し、「業界の景況」DI値は3.3ポイント、「売上高」DI値は15ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント、それぞれ悪化した。前年同月比でみると、先月に引き続き全項目で悪化しており、「業界の景況」DI値は13.3ポイント及び「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント、「資金繰り」DI値は20ポイントそれぞれ悪化という結果になった。

連絡員からは、先月に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の減速の影響が製造業、非製造業問わず出ている。感染者が全国的に増加をしている中で、Goto事業等施策による下支えはいくらも見られるものの、対面での商売となる一部の小売業やサービス業やそれに関連する業界はもとより、新潟県の産業全体でみても依然として厳しい状況に置かれている。

組合の特記事項としては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く出ている。製造業においては、一部製材業や巣ごもり需要の影響が推測される家庭雑貨やアウトドア用品等個人向けの製品では堅調な動きがみられるが全体的に景気の低迷を受けて厳しい状況が続いている。非製造業では小売業、サービス業はどうしても対面での商売が基本であることから、コロナウイルス感染者の増減の影響が大きく出しており、こちらも全体として厳しい状況が続いている。